



会長 和田 吉正



理事長 山本 良一

## ごあいさつ

皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は日新信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

平成30年度の日本国内の景気は、大企業を中心に企業収益が改善し、それに伴い企業の設備投資も増加傾向にありました。また、雇用・所得環境の改善が続くなかで個人消費についても持ち直しの動きとなるなど、わが国経済は全体として緩やかな回復基調が続いていました。

しかしながら、中国経済の減速の影響の広がり、米中の貿易摩擦、英国のEU離脱問題など、世界経済の先行きには一層不透明感が増してきました。

また、地域経済の担い手である中小企業や小規模事業者においては、人件費や原材料の上昇による収益の問題、慢性的な人手不足や後継者問題の一層の深刻化、本年10月に予定されている消費税率の引き上げの影響など、多くの経営課題に直面しています。

そうしたなか、〈にっしん〉の平成31年3月末の預金残高は7,306億円、貸出金残高は3,364億円となり、収益面においては、お蔭さまをもちまして1,622百万円の当期純利益を計上することができました。また、自己資本比率は10.36%で経営の健全性、安全性は十分堅持しています。

平成30年度、〈にっしん〉はお客様の課題解決の支援として、展示商談会「〈にっしん〉輝きメッセ2018」の開催や、事業承継相談をはじめとするお客様の経営に役立つ各種相談会・セミナー・講演会などに積極的に取り組みました。また、〈にっしん〉のお客様同士のビジネスマッチングにも力を入れ、多くの成果をあげることができました。

〈にっしん〉はこれからも「お客様第一主義」を旨とし、地域経済がどのような環境下であろうとも、地域に寄り添い、地域住民や中小企業のライフステージに応じて発生するさまざまな課題の解決に向けてきめ細やかな支援に真剣に取り組む、的確で円滑な資金供給を通じて地域社会の持続的発展に貢献できるよう一生懸命に取り組んでまいります。

従来に増しまして皆さまのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月

会長 和田 吉正  
理事長 山本 良一